

四條畷学園短期大学 FD・SD 研修会

「四條畷学園短大の教育を 見る・観る・診る -日本の子どもの変容を踏まえて-」

【日時・場所】

2026年2月14日(土) 13:30-14:30

四條畷学園短期大学 清風学舎 202教室

【概要】

我が国では、1970年代よりコンピュータの教育利用について議論が開始されました。その後、いくつかの技術革新が、教育に新たな影響を与えてきました。

本研修会では、それらの歴史を概観するとともに、2022年以降の生成AIの本格的な登場が、教育にもたらすブレークスルーについて考えてみたいと思います。

【講師】

黒田 恭史 先生

京都教育大学 教授

【経歴】

大阪教育大学卒業、大阪教育大学大学院修士課程修了、大阪大学大学院博士後期課程修了。博士(人間科学)。大阪府内の公立小学校勤務8年の後、佛教大学専任講師、助教授、准教授、教授を経て、現在、京都教育大学教育学部教授。京都教育大学では、小学校教員養成、中・高等学校(数学)教員養成に従事。近年の研究テーマは「数学教育と脳科学」の学際的研究。

小学校勤務時代、クラスで豚を飼うといった取り組みを3年間実践。フジテレビ「今夜は好奇心」にて1993年7月放映。第17回動物愛護映画コンクール「内閣総理大臣賞」受賞、第31回ギャラクシー賞テレビ部門「ギャラクシー奨励賞」受賞。

著書に「豚のPちゃんと32人の小学生」(ミネルヴァ書房)、「脳科学の算数・数学教育への応用」(ミネルヴァ書房)、編著に「数学科教育法入門」(共立出版)などがある

2025年度 FD・SD 研修会 受講アンケート

今後のFD・SD研修会の改善に向けて、ご意見・ご感想等をお聞かせ下さい。

ご所属

お名前

①今回の研修会は授業や教育、業務の改善に役立つ内容でしたか。

大変役に立つ ・ 役に立つ ・ あまり役に立たない ・ まったく役に立たない

②①の理由について、お聞かせ下さい。

③FD・SD研修会で取り上げてほしいテーマ、内容等のご要望があればお書き下さい。

2026.3. 教学委員会

2025年度 FD・SD 研修会 報告

テーマ： 四條畷学園短大の教育を見る・観る・診る-日本の子どもの変容を踏まえて-

日時： 2026年2月14日(金)13:30～14:30

場所： 清風学舎 202 教室

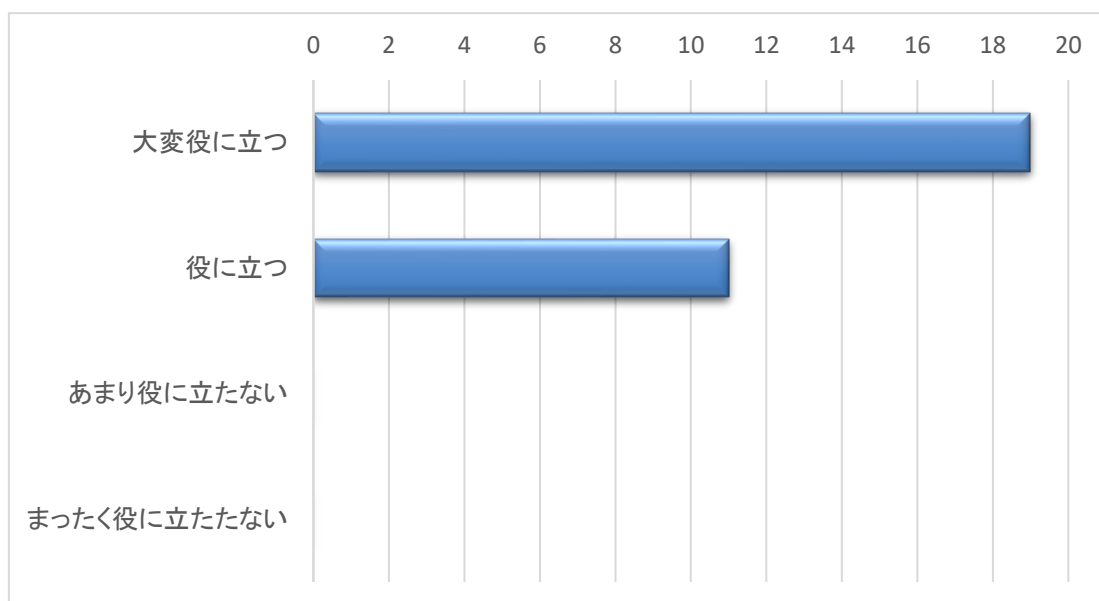
講師： 黒田 恭史(京都教育大学)

参加： 教職員 33名

アンケート提出： 30名

【受講アンケート集計結果】

① 今回の研修は授業や教育、業務の改善に役立つ内容でしたか。



② ①の理由について、お聞かせ下さい。(抜粋要約)

【大変役に立つ】

- 具体的なデータがあり分かりやすかった
- 支援が必要な児童・生徒が急増傾向にあることや、今後外国人学生が増加していくことが見込まれる等、同じ高等教育機関に身を置く立場としてのお話が大変興味深かった。また、短大が生き残る道としてのヒントのお話も参考になった。
- 具体的なデータで不登校の状態がよく分かりました。外国籍の学生対応についても今後増えてくるので今から対策等を考えていかなければならないと思いました。
- 黒田先生のお話がとても詳しくよく分かりました。ありがとうございました。
- 年々、大変な学生が増えて来ているなど思っていたが、理由がわかってすっきりした。休むようになったきっかけも、期待することも、最近良く聞く内容で、支援体制もいろんなパターンを考えておかないといけないと思う。

- 小学校の不登校の現況をお聞きし、親支援に偏っている”子育て支援”の問題(長時間保育など)などあれこれ考えてしまいました。大学のシステム(教員の価値観、教育観含む)のアップデートは喫緊の課題であると改めて痛感し、今後の検討議論の手がかりをいくつか頂けたと思いました。
- 小・中・高の児童・生徒の現状をおさえ、では、大学ではどうするかを考える機会を頂きました。本学のカリキュラムについて、外部からの視点で見ただけのことでも貴重なご意見であったと思います。ありがとうございました。
- 近年の学生の多様化に対応する手段を学ぶことができました。今後の授業展開に向けて、活用させていただきたいと思います。ありがとうございました。
- 地方における企業の進出における課題について、例示として挙げられていたものに納得し、これからの対応の必要性を感じました
- 直接、自分の授業に関連する内容ではなかったが、教育全体の問題が分かりやすく、勉強になった。
- 様々なグラフや資料より、統計学的視点と問いをたくさん投げかけていただき、気づきを得ることができた。不登校や特別支援が増えているという問題、課題はわかっていたが、その子どもたちが18歳になったと時に、大学に入ってくることのイメージをしっかりと持てていなかったことが大きな気づきだった。教育を様々な視点から「みる」機会を与えてくださり、ありがとうございました。
- 小・中学校の不登校の状況、外国人の子どもの教育、これから短大生として入学して来る学生たちの未来を見せていただきました。厳しい状況ではありますが、これからその子どもたちを迎えていくためにしくみ作りが必要であると思います。教員のマンパワーでは難しいと痛感しました。ありがとうございました。
- 短期大学の変化を展として感じていたものが、小学校からの不登校であったり、外国人問題が今後(近い将来)に影響することが分かり、心構えができました。変化のスピードの対応できるように、情報共有してもらえると助かります。学ぶことは何かを考えさせられました。
- 学生への接し方など悩むことが多いなか、資格取得などにこだわらず、かしく市民として生きるための自分のスキルを上げたり、人生を楽しむことを伝えるのが大切というお話がとても共感できました。今の時代に合った考え方に自分自身も対応していかなければならないことに気づかされました。
- 現在、学習塾(小～高)、予備校、大学にて授業担当しており、現状の把握、認識に役立ちました。ありがとうございました。
- 中教審の情報を知ることができた。
- 今の本学の実情をふまえた知見が多くあったため。ありがとうございました。
- いとこの子が小学校6年生で一時不登校になったが、小学校の低学年で増えているのに驚いた。
- 2025年度前期に別室受講の学生がいた。特別なことだと思っていたが、今後は増える可能性があるのを知った。前期の学生は学習意欲が高かったなので、課題対応でなんとか考えられたが、もし意欲が低い学生の場合はどうのような対応がよいのか？
- 「プラコル」は自己肯定感を忘れるのも良い取り組みかと思った。

- 現在の学生の状況が分かりやすく、お話も楽しくて良かった。身近に不登校の学生さんが増えているのを感じていたところなので、役に立つお話でした。ありがとうございました。
- ざっくり理解していたことを数値で明確に示していただき、わかりやすく、また自身の学びとして役立ちそうでした。

【役に立つ】

- 既存の人的物的資源を最大限に活用した広報戦略や建学の精神に立ち返り(コストをかけず)本学独自の戦略を行う等、100年間を迎える節目に今後更なる深化のための様々なヒントやアイデアをいただけたと感じる有意義な研修会だったからです。
- 不登校児童生徒数等の数字の多さに驚いており、日本の教育現場の実態を知り、課題認識もできました。学生においても世の中の変化と共に「かしこい生き方が必要」であるとの事に興味を持ちました。学びのモチベーションアップにつながる戦略をマスコミ、SNS等で上手に活用する必要も知りました。
- YouTube 活動の取り組みが、全ての人たちに役に立つ。何度も見返す事ができる、無料配信、自分たちで作上げる事で学生たちが頑張れる、社会にアピールできる、モチベーションがあがる、どこでも勉強できる等、色々な面で活用できる。お金のかからない学生募集にも使える。
- 現在の学生の実情がよくわかりました。と、同時に問題を抱えている学生に対しての個々の対応についても多様化が必要で、難しい問題であると思いました。
- 少子化が加速している中、いかに学生目線に立って何を必要としているのかを考え、今後につなげられればと思いました。
- 本学の実際に生かせるデータ駆使が良かった。
- 不登校・長欠児童及び外国人の現状を改めて学び、教育の中味についての改正を強く感じた。
- 教育ツールのデジタル化の視点や幼保小の連携・進学をつなぐりを考えると、不登校の実態や保育でできることを考えなければならないと思いました。
- 現在の小中学校における教育現場の状態をデータを通じて知ることができた。一方、個人的な立場として大学に属するものの、現場に対する認識が薄い方や講演テーマについての解決策を即時的に考えることが難しい現状をどのように捉えるのかについて、今一度考える必要があると感じています。
- 学生にコンテンツを作成させ社会に発信する体験は座学だけの学びに比べ、学びへのモチベーションを維持させる上で有用に感じた
- ここ数年で大学の授業(情報処理)でもクラス単位で見た場合、最初から最後まで授業に来ない学生の人数が目立つようになってきた。必修科目にも関わらず。

③FD・SD 研修会で取り上げてほしいテーマ、内容等のご要望があればお書き下さい。

- (現状の)ICTによる教育(支援)をもう少し具体的に知りたいと思いました。
- AIの教育利用の実状等

- ICT(AI、ChatGPT 等)の活用方法、具体的な活動できるプロンプト等
- 同じ職場における「不適切保育」「不適切教育」について、それぞれの対応、考え方についての研修を希望いたします
- 学生の AI の活用等の研修があればと思います
- 学生の多様性とその対応について
- 講義科目(プリント配布、板書)での次世代講義法の可能性について
- 保育関係の ICT 化、保育士養成のデジタル化について取り上げていただきたい
- 生成 AI の様々な使い方について、PC を使って教えてほしいです。安全なソフトも知りたいです
- 配慮が必要な学生に対する指導・支援について
- SNS で発信するポイント、作り方、作ってみる？
- 各授業が取り組みを発信するアンテナを持つ機会になれば
- 発達障害学生の対応
- 発達障害の人の行動の特徴、対応方法
- 不登校生、長期欠席生徒への対応例など、具体的な事例を聞きたい
- 別室授業、指導の実践事例
- 教育におけるメタバース活用事例
- 広報戦略(学生募集)と教育課程の改善

以上